

通し番号	52
共同利用・共同研究拠点名	生態学・生物多様性科学の先端的共同利用・共同研究拠点
大学等名 (研究施設名)	京都大学(生態学研究センター)
評価区分 (期末評価結果)	A
評価コメント	<p>生態学・生物多様性科学分野の中核的拠点として、小規模ながら大型外部資金の獲得や世界水準の国際的な学術誌への質の高い論文発表等の研究成果を上げるとともに、調査船をはじめとした施設・設備や琵琶湖に関するデータベース等の利用状況が好調であり、更には西太平洋・アジア生物多様性ネットワーク(DIWPA)を運営し、外国研究機関との学術交流や国際的な人材育成を実施していることは高く評価できる。</p> <p>今後は、内部利用の多い施設・設備について外部利用比率が高まるよう共同利用を更に促進するとともに、総合地球環境研究所との異分野融合研究に係る方向性の更なる具体化及び留学生や外国人研究者の受入れを更に増加させる取組が期待される。</p>